

教育系大学院の検討状況

討議用資料

2013.08.27

大阪府市新大学構想会議 矢田

教育系大学院の概要

(1) 社会人を対象とした教員免許状取得コース(転職市場対応プログラム)

【カリキュラムの特徴】

- 社会人の専門知識・経験を活かした授業開発、カリキュラム開発ができるようなカリキュラム(教育課程)に関する科目を設定し、他の学部あるいは修士レベルの課程との差別化を図る。
- 教科に関する科目については、各研究科の特徴のある(高度な)科目(アドバンス科目)を、社会人の専門性を活かし、それを向上させるような選択ができるようにする。
- 学校インターンシップ(仮称)を必修とし、実習校の課題に即したカリキュラム開発について研究し、提案する。

【教育目標】

社会の各分野で培った専門的な知識、技能、経験をさらに向上させ、それらを活かした授業開発、カリキュラム開発を行える教育実践者を養成する。

【入学対象者】

卒業(修了)した大学(大学院)において、教員免許状取得のための十分な単位取得している者
(「十分な単位」の基準設定および事前相談が必要)

※教員免許状取得のための単位をほとんど修得していない、あるいは未修得の場合は、学部レベルの教職課程で多くの単位(59単位)を修得する必要があるため。

【学位】 修士(授業開発)

【カリキュラム】

①コア科目(必修8単位)

学級経営論、特別活動指導論、キャリア教育論、学校経営論

②授業・カリキュラム開発科目(必修8単位)

授業開発論、授業開発演習、カリキュラム開発論、カリキュラム・リーダーシップ演習

③アドバンス科目(教科内容高度化)(選択10単位)

④学校インターンシップ I・II(必修4単位)

教育系大学院の概要

(2) スクール・リーダー養成コース(現職教員を対象としたリカレント教育プログラム)

【カリキュラムの特徴】

- 学校マネジメント論、カリキュラム開発論を中心とするコア科目
- 問題設定・解決型のプロジェクト・ベース科目による研究を基盤とした(都市の学校現場における問題を対象にした)問題解決学習
- 研究開発拠点校(仮称)における実践と研究の融合(教育委員会との連携)
- アドバンス科目(教科内容高度化科目)による教員の専門性向上(学問観・教育観の再構築)

【教育目標】

学校マネジメントの中心となるスクール・リーダー(管理職)や、カリキュラム開発の中心となるミドル・リーダー(主任等)の再教育、養成を行う。

【入学対象者】

一定年限の教職経験をもつ者

【学位】 修士(学校経営)

【カリキュラム】

① コア科目(必修10単位)

学校マネジメント論、学校組織開発演習、カリキュラム開発論、カリキュラム・リーダーシップ演習、学校調査法

② プロジェクト・ベース科目(選択4単位)

③ アドバンス(教科内容高度化)科目(選択12単位)

④ 修了研究Ⅰ・Ⅱ(必修4単位)

教育系大学院の概要

(3)教育MBAコース

【カリキュラムの特徴】

- 学校改革論、教育政策・改革論、学校マネジメント論を中心とするコア科目
- ビジョン設定、戦略的思考、政策立案の高度化を図るアドバンス科目
- 学校マネジメント・教育行政インターンシップ(仮称)を必修とし、実習校および当該地域の教育行政・政策における意思決定、組織開発、政策立案について研究し、提案する。

【教育目標】

革新的な学校づくり、あるいは教育行政の革新を通じて、教育課題の解決に貢献するスクール・リーダーあるいは教育行政リーダーを養成する。

【入学対象者】

大学卒業者(社会の各分野での組織マネジメントの経験を持つ者)

【学位】 修士(教育マネジメント)

【カリキュラム】

①コア科目(必修14単位)

学校改革論、教育政策・改革論、学校マネジメント論、学校組織開発演習、カリキュラム開発論、教育行財政論、学校調査法

②アドバンス(ビジョン設定、戦略的思考、政策立案の高度化)科目(選択10単位)

③学校マネジメント・教育行政インターンシップ I・II・III(必修6単位)

教育系大学院の概要

(4) 大学職員等を対象とした高等教育学コース

【設置の背景】

今日の高等教育機関では、大学職員として勤める段階での専門性を要求しており、そういった人材を養成していくには高等教育自体を研究し、研究者としての経験を持って、大学運営の実践に結びつける人材が必要である。また、高等教育についての研究、教学改革の実践に結びつける研究者も不足している。

【教育目標】

高等教育に関連した理論的・概念的知識に関する深い理解を持ち、問題解決能力、リーダーシップなどを身につけ、将来の予想が困難な時代に高等教育の教育改革・管理運営等に貢献できる人材を養成する。

【入学対象者】

学部卒のフルタイム学生と大学職員等の社会人の双方を対象とする。

【学位】 修士(高等教育学)

博士後期課程についても、修士課程完成後に設置を目指す。

【カリキュラム】

(授業科目)以下の5つの領域から必要な科目を配置する。また、修士論文は義務づける。

- I. 基礎的な高等教育についての知識を理解する
科目例: 比較高等教育論、大学組織論、大学管理運営論、大学カリキュラム論
- II. 高等教育についての特定のテーマについての理解を深める
科目例: 高等教育の国際化、学生カウンセリング論、高等教育におけるアセスメント、リカレント教育論、エンロールマネジメント論
- III. データを収集し、分析する方法を学ぶ
科目例: 応用統計学、データベース活用論、機関研究論、大学経営事例分析
- IV. 高等教育分野の教育方法等について研究する
科目例: 高等教育におけるICTの活用、高等教育における教科教育論、国際化教育論、高等教育研究調査法
- V. 高等教育の現場での実践(海外機関との連携も含む)
科目例: インターンシップ、高等教育実践ゼミナール(PBL)